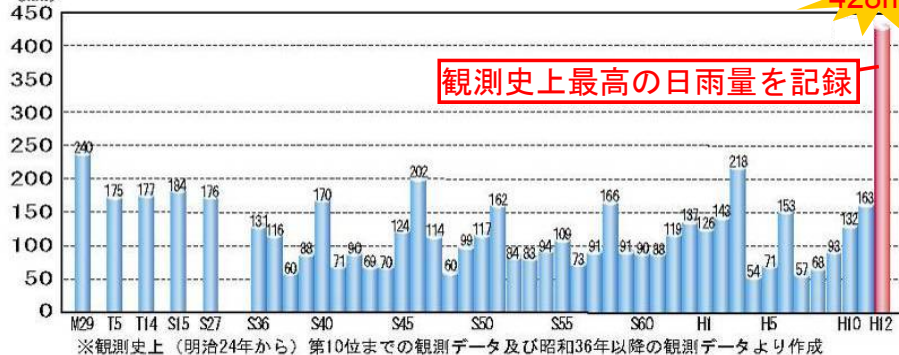


○平成12年9月東海豪雨は、庄内川下流域で観測史上最大の洪水を引き起こし、2日間で年間の総雨量の1/3にもおよぶ567mmを記録し、名古屋市北部を流れる庄内川・新川の沿川に大きな被害をもたらした。

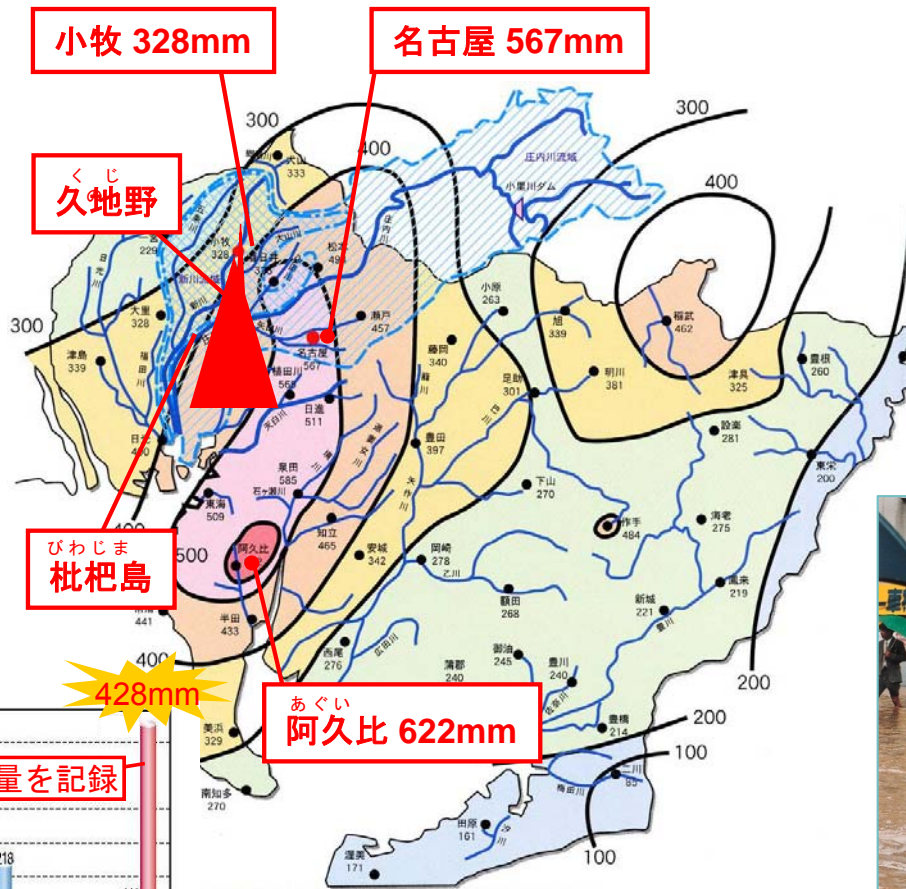
名古屋（名古屋地方气象台）



名古屋地方气象台の日雨量



東海豪雨の降雨状況



西枇杷島町の浸水状況



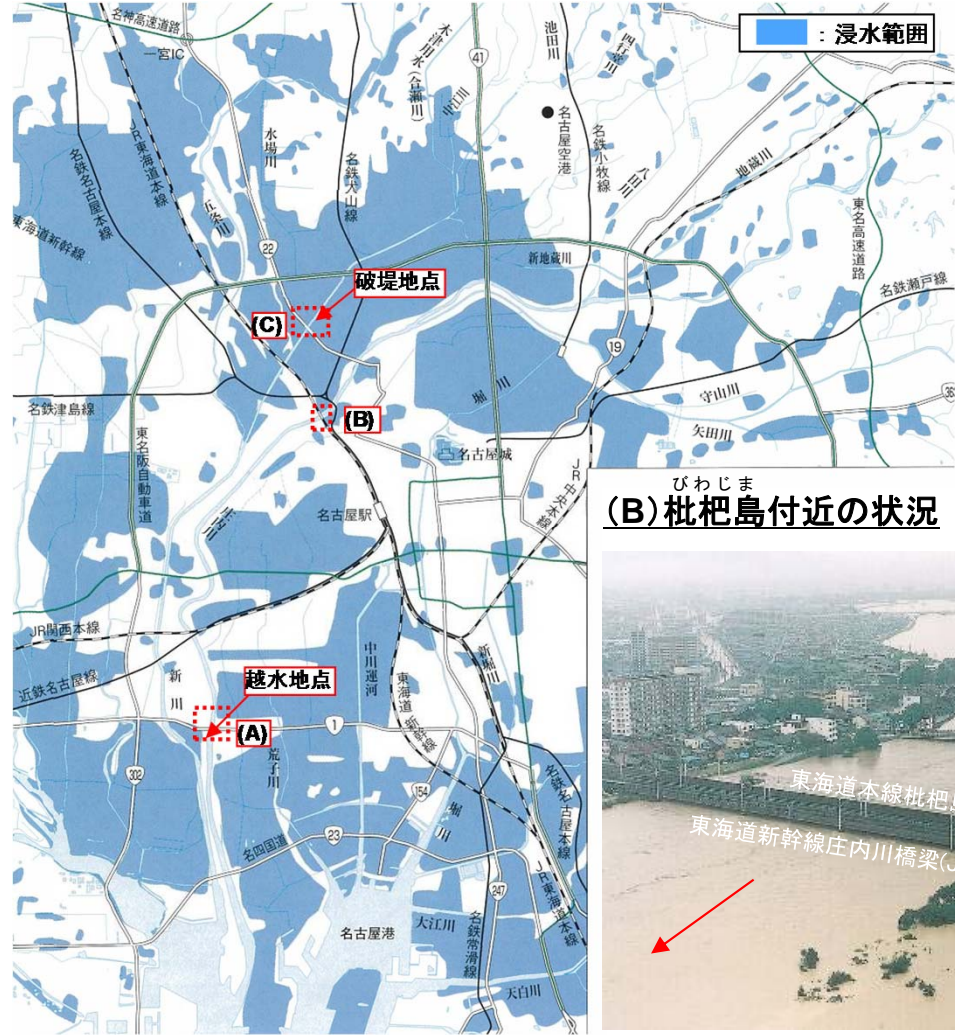
名古屋市西区八筋町の浸水状況



出典:平成29年度 第1回 河川基本技術会議(参考資料)

- 庄内川では、7.0k～22.0kの約15km区間で計画高水位を超過した。
- 一色大橋下流右岸（4.4k付近）で越水、新川洗堰（19.4k）では新川に越流した。
- 新川では、西区あし原地先の左岸堤防（16.0k付近）で約100mにわたり堤防が決壊した。

庄内川・新川の浸水状況



水害状況

(A)一色大橋付近の状況



びわじま (B) 枇杷島付近の状況



(C)新川で破



出典：平成29年度 第1回 河川基本技術会議(参考資料)

	被害実績
時間最大雨量	93mm/h
総雨量	567mm(9/11～9/12)
床上・床下浸水	愛知県:34,041 棟 岐阜県: 8 棟
氾濫面積	愛知県:10,476.6 ha 岐阜県: 10.5 ha
避難人数	約29,000 人

出典：水害統計